

第1回 北九州市文化芸術推進プラン検討会における主な意見

種別	意見の概要	対応方針	構成員
文化 範囲	文化芸術の範囲をどこまで捉えるのか？	プラン素案の中で、文化芸術基本法等を踏まえて、本プランにおける文化芸術の範囲を記載する。	羽田野 構成員
	文化は、非常に格調高いものからそうでないものまで、多種多様であり、人によってイメージが異なる。		南 構成員
	エンタメコンテンツやアニメ、映画は稼げる文化芸術であるため、きちんと位置付ける必要がある。		調 構成員
目指 す姿	「地域の文化」と「人を呼び込む文化」は意味合いが異なるが、「文化成熟都市」とはどういったイメージか？	本市の文化芸術が更に発展し、洗練された都市・ウェルビーイングを実現できる都市を目指すという意図で「文化成熟都市」とした。 【別案】「文化共創都市」 市民や企業・団体とベクトルを合わせて上記の都市を目指す。	久保山 構成員
	「文化成熟都市」の「成熟」の意図など、説明が必要。		南 構成員
目標	網羅的で幅広に捉えている一方で、総花的な印象のあるプランであるため、今後5年後の目標を考えておく必要がある。	プランの成果指標を以下のとおり4つ設定し、目指すべきゴールを踏まえて、各施策を実施する。 ・プラン全体 →文化のかおるまちと思う市民の割合 ・柱①「まちに彩りを生み出す」 →文化芸術を身近に感じる市民の割合 ・柱②「豊かな心と活力を育む」 →文化芸術を直接鑑賞した市民の割合 ・柱③「多様な人を惹きつける」 →観光消費額	調 構成員
	総花的な印象が強いため、重点的な取組みが分かるように整理し、ゴールを明確にする必要がある。		羽田野 構成員
	施策の重点化をどう考えるかなどについては、文化芸術が目指す大きな方向性を定め、行政や団体、企業や市民とベクトルを合わせるためのプランであることを踏まえ、見せ方の工夫が必要。		南 構成員
	今回のプランの位置づけを踏まえると、成果指標は個別具体的ではなく、ざっくりとしたものがよい。		南 構成員

種別	意見の概要	対応方針	構成員
役割分担	財源の問題もあり、持続可能性を踏まえて、企業・市民・行政など、それぞれの役割を確認する必要がある。	プラン素案のうち、「推進体制」において、各団体の役割を概念的に記載する。	調 構成員
	プランの推進体制については、担い手である市民や企業、団体と、それを支える行政の役割などを概念的に示す必要がある。		南 構成員
	文化団体や地域と連携するなど、民間の力を活用し、文化芸術の振興に取り組んでいただきたい。		福本 構成員
柱①	埋蔵文化財を大切にしていることが伝わるよう、表現を工夫してほしい。	埋蔵文化財に関して記載するなど、意見を踏まえた表現とする。	久保山 構成員
柱②	「インクルーシブ」という言葉はよいが、障害がある方などを別に分けるのではなく、社会の中で一緒に活動していくイメージが必要。	個人の属性によらない旨を記載するなど、意見を踏まえた表現とする。	久保山 構成員
	全体的にまとまったプランであるが、具体性がない。特に「若い世代が興味を持つきっかけづくり」を掲げるのであれば、美術館などの、ミュージアム・ツアーは重要。	文化芸術に興味を持つきっかけづくりについて、意見を踏まえた記載とする。 なお、本プランは、文化芸術の大きな方向性を定めるものであるため、具体的な個別事業については、ご意見を踏まえつつ、毎年度の予算の中で検討する。	外山 構成員
	小中学生で体験した、劇団四季や雅楽などの芸術鑑賞会などは、文化芸術に触れる貴重な機会であったので、今後も継続してほしい。		藤石 構成員
	文化団体も高齢化しており、子どもが文化に興味を持つきっかけづくりに取り組みたい。	プラン素案において、一般的でない用語の解説を記載する。	福本 構成員
	「ウェルビーイング」について解説が必要。		大島 構成員
	「次世代を担う子ども・若者の文化芸術体験の充実」では、学校だけでなく、地域も含めた広い視点で捉える必要がある。		大島 構成員
	「誰もが文化芸術に親しみ楽しめる環境づくり」では、高齢者の視点を加える必要がある。		大島 構成員
	大島 構成員		

種別	意見の概要	対応方針	構成員
柱③	文化観光の部分では、海外や国際の視点があるとよい。	国際的な視点を記載するなど、意見を踏まえた表現とする。	久保山構成員
	北九州市が持つ様々な魅力を伝えていくため、どうPRしていくかが重要。全国、海外の前に、まずは、周辺の集客から、着実に取り組む必要がある。	プラン素案の中で、全国、海外だけでなく、近隣も含めた情報発信やPRの視点を記載するなど、意見を踏まえた表現とする。	調構成員
	美術館分館はまちなかにあり、小倉城庭園やリバーウォークにも近いいため、「稼げる」に繋がるのではないか。	まちなかで文化芸術に触れる機会など、意見を踏まえた表現とする。	外山構成員
	北九州市の食文化は、「地産地消で安全」ということも誇れる点である。	個別事業の企画にあたっては、ご意見を踏まえて、情報発信等に取り組んでいく。	外山構成員
	観光の観点では、食文化は重要。	文化観光の一環として食文化を位置付けるなど、意見を踏まえた表現とする。	羽田野構成員
	「多様な人を惹きつける」では、1回だけ来てもらうのか、リピートを増やすのか、移住まで狙うのか、目標を明確にする必要がある。	ご意見を踏まえ、個別事業の企画にあたっては、目標を明確にして予算化する。	藤石構成員
	映画はZ世代としても親しみやすいものであるため、聖地巡礼につながるロケツーリズムなどに取り組むことで、もっと人を呼び込めるのではないか。	プラン素案の中で、ロケツーリズムに関して記載するなど、意見を踏まえた表現とする。	藤石構成員
	中村座や祭りの時期は、多くの人が集まるため、積極的にイベントを行ってほしい。	集客力の高い文化芸術やイベントに関して記載するなど、意見を踏まえた表現とする。	藤石構成員
	美術館では、若い人を取り込むために、SNSなどの映えを重視するなど、時代に合わせた取り組みが必要。	時代環境やニーズに応じた取り組みに関して記載するなど、意見を踏まえた表現とする。	藤石構成員
	北九州といえばこれ、といったものをつくることで、人を呼び込むことができるのではないか。	本プランを推進する中で、7区の魅力を磨き、北九州市の都市ブランドを築き、左記のご意見を実現したい。	藤石構成員
長期滞在につながる場所を7区でつくっていただけるとよい。	藤石構成員		